

令和4年度 鴨志田地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

鴨志田地域ケアプラザが管轄する中里北部地区(鴨志田町、寺家町、たちばな台1丁目、2丁目、成合町)の総人口は14,946人。昭和40年頃の宅地開発により建てられた、大型団地や比較的新しい住宅地が広がっている区分と、農業を営むエリアに区分できる。現在中里北部地区の高齢化率は約28.66%で、青葉区全体と比べて約7%高い値となっている。(データはいずれも2020年3月現在)

地域福祉保健計画や地域ケア会議等での意見交換により挙がってきている、地域の活動者の高齢化(次の世代の担い手不足)、地域での新しい生活様式に合わせた見守りの取り組み方・つながり方などの課題に対して、この地域の強みである住民の自助・互助の意識の高さを活かすネットワークをつくっていく。

ケアプラザが身近な相談窓口であるよう、多くの住民が利用しやすい仕組みづくりとして、自治会・町内会館等に出向き、介護保険に関する講座等を通してケアプラザの機能を周知し、課題解決に向けて地域住民と一緒に理解を深めていく。

今年度の重点的な取組

新規  
継続

— 具体的な取組内容 —

子どもから高齢者まで広く住民が持つ困り事や問題、状況に合わせて、相談でき、適切な機関につなげられるよう、相談事例を地域と共有する機会をつくります。  
ラジオ体操の活用、子ども向けの指導ボランティア、介護予防講座などを実施していきます。  
気づきの和連絡会のチラシやステッカーを活用し、見守り活動を地域住民と共に普及啓発していきます。  
若い世代が利用できる工夫として、WEB開催、SNS、ICTの活用をすすめていきます。

地域住民と福祉の専門職、インフォーマルなど社会資源がつながり、地域全体で共助の関係性ができる場、住民等と事業所、ケアマネジャーをはじめとした福祉の専門職が対応力を高められる場として、包括エリアの地域ケア会議や交流会を開催します。地域の課題を解決に向けて、包括カンファレンスや研修などの支援をしていきます。

認知症について、正しく理解し早期発見・対応に繋げていくために、地域への普及啓発等を実施します(サポーター養成講座の開催や介護者のつどいででの周知等)。地域住民の他、郵便局や新聞社、銀行等とも連携し、把握した対象者に対して認知症初期集中支援チームを活用したり、医療機関や区役所と連携したりして対応していきます。

住み慣れた地域で、いつまでも心身共に健康で過ごせるように歩いて行ける身近な場所で関係機関(医療機関・介護保険事業所等)との他職種連携による事業(介護予防)や普及啓発(ハマトレ)に取り組みます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

# 令和4年度横浜市鴨志田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	利用者、事業所、関係者を問わず、公正・中立の立場として必要な情報を提供し、サービスを利用する際には利用者、家族の選択に合致したサービスが適切に提供されるよう各関係機関と連絡調整していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時や事故発生時の対応に関して、マニュアルに沿って迅速に対応できるよう保管場所等について明確にします。</li> <li>・個人情報の取り扱いについて入職時と年2回の研修を実施し、知識を深め、意識向上を図ります。郵送・FAX等の個人が特定できる内容を提供する際にはダブルチェックを行ない、情報漏洩防止に努めます。</li> </ul>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、身体状況や対象者自らの選択に基づき、介護予防・自立支援に向けたフォーマル・インフォーマルサービスを包括的・効率的に実施できるように支援します。	利用者が住み慣れた自宅、地域で生活における支障を最小限にとどめ、永く継続できるように利用者、家族の意向、心情の変化を細かく把握し、サービス事業所、地域包括支援センター、区役所と連携し、自立支援に向けた取り組みを行います。担当職員が不在の時でも対応ができるよう日頃から職員間の連携を密に行なっていきます。
利用料金・実費負担		
職員体制	管理者(常勤)1名・保健師(常勤兼務)1名・主任介護支援専門員(常勤)1名・社会福祉士(常勤)1名	管理者(常勤)1名・主任介護支援専門員(常勤兼務)1名・介護支援専門員(非常勤)1名
契約者数		

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安心してご利用できるよう、コロナ過でも取り組める社会貢献を含め、地域の方たちと交流が持てる場として、お互いが共存していけるようサービス提供を行ないます。</li> <li>・ご利用者ご家族の要望に迅速に対応し、地域での交流を図りながら、在宅生活を長く続けられるよう支援します。</li> <li>・自立支援を常に考え、自己選択のできる機能訓練を多く取り入れたプログラムの提供を行なっていきます。</li> </ul>		

実施体制	<b>【実施日数】</b> 月～土(日曜、年末年始を除く) <b>【提供時間】</b> 9:45～16:00 <b>【定員】</b> 35名	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>	<b>【実施日数】</b> <b>【提供時間】</b> <b>【定員】</b>
利用料金・実費負担	利用料金…介護度、負担割合(1～3割)に応じた金額を徴収 ・実費負担…昼食代750円(おやつ代含む)		
職員体制	管理者1名(常勤兼務) 生活相談員3名(常勤兼務) 看護職員2名(非常勤兼務) 機能訓練指導員2名(非常勤兼務) 介護職員13名(常勤兼務2名・非常勤11名) 運転手4名(非常勤) 調理員4名(非常勤)		
契約者数等	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>	<b>【延べ利用者数】</b> <b>【契約者数】</b>

令和4年度「横浜市鴨志田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,426,200		13,426,200		13,426,200	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000		300,000	
雑入	40,000	0	40,000	0	40,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	40,000		40,000		40,000	
その他			0		0	
その他	3,990,000		3,990,000		3,990,000	施設利用料相当額控除
収入合計	17,756,200	0	17,756,200	0	17,756,200	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,412,500	0	11,412,500	0	11,412,500	
本俸	9,147,500		9,147,500		9,147,500	所長1/8名、コーディネーター1名、サブコーディネーター4名
社会保険料	624,000		624,000		624,000	
手当計	1,550,000		1,550,000		1,550,000	
健康診断費	35,000		35,000		35,000	健康診断、インフルエンザ予防接種代
勤労者福祉共済掛金			0		0	横浜市社会福祉協議会共済掛金
退職給付引当金繰入額	50,000		50,000		50,000	独)福祉医療機構退職共済掛金
その他	6,000		6,000		6,000	
事務費	400,000	0	400,000	0	400,000	
旅費	5,000		5,000		5,000	介護等参加時交通費
消耗品費	45,000		45,000		45,000	コピー用紙、プリンターナー、事務用品他
会議随費			0		0	
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	広報誌「鴨メール」、資料等印刷
通信費	120,000		120,000		120,000	電話料金、参加案内等郵送料金
使用料及び賃借料	8,400	0	8,400	0	8,400	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	8,400		8,400		8,400	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	4,000		4,000		4,000	個人情報漏洩、業務中傷害、感染症
職員等研修費			0		0	
振込手数料	5,000		5,000		5,000	事業講師料等振込手数料
リース料	80,000		80,000		80,000	コピー機、AED、玄関マット、パソコン
手数料	1,000		1,000		1,000	
地域協力費	20,000		20,000		20,000	地域自治会等協力費
その他	61,600		61,600		61,600	ガソリン代、自動車保険料、市社協会費、青葉区民協会の費
事業費	442,000	0	442,000	0	442,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	400,000		400,000		400,000	
その他			0		0	
管理費	4,027,700	0	4,027,700	0	4,027,700	
光熱水費	2,131,700		2,131,700		2,131,700	
清掃費	751,000		751,000		751,000	
機械整備費	320,000		320,000		320,000	
設備保全費	525,000	0	525,000	0	525,000	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守	130,000		130,000		130,000	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守	75,000		75,000		75,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	320,000		320,000		320,000	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000		300,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	17,756,200	0	17,756,200	0	17,756,200	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	300,000	0	300,000	0	300,000	
自主事業費 支出	400,000	0	400,000	0	400,000	
自主事業 収支	△ 100,000	0	△ 100,000	0	△ 100,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	40,000	0	40,000	0	40,000	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	8,400	0	8,400	0	8,400	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	31,600	0	31,600	0	31,600	

\*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「横浜市鴨志田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	19,345,000		19,345,000		19,345,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,171,000		5,171,000		5,171,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	24,670,000	0	24,670,000	0	24,670,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,502,000	0	21,502,000	0	21,502,000	
本俸	11,785,000		11,785,000		11,785,000	所長3/8名、包括3職種、生活支援1名
社会保険料	3,530,000		3,530,000		3,530,000	
手当計	5,684,000		5,684,000		5,684,000	
健康診断費	42,000		42,000		42,000	健康診断、インフルエンザ予防接種代
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	416,000		416,000		416,000	横浜市社会福祉協議会共済掛金
その他	45,000		45,000		45,000	独)福祉医療機構退職共済掛金
事務費	450,000	0	450,000	0	450,000	
旅費	5,000		5,000		5,000	会議等参加時交通費
消耗品費	228,000		228,000		228,000	コピー用紙、プリンター、事務用品他
会議滞在費			0		0	
印刷製本費	47,000		47,000		47,000	資料等コピー
通信費	116,000		116,000		116,000	電話料金、資料等郵送料金
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	5,000		5,000		5,000	個人情報漏洩、感染症、業務中傷害
職員等研修費	3,000		3,000		3,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	事業講師料等振込
リース料	36,000		36,000		36,000	コピー機、AED、玄関マット、パソコン
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0		0	ガソリン代、自動車保険料、市社協会費、青
事業費	1,184,000	0	1,184,000	0	1,184,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000		100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	300,000		300,000		300,000	
その他			0		0	
管理費	1,408,000	0	1,408,000	0	1,408,000	
光熱水費	1,099,000		1,099,000		1,099,000	
清掃費	200,000		200,000		200,000	
機械警備費	84,000		84,000		84,000	
設備保全費	25,000	0	25,000	0	25,000	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他			0		0	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	24,670,000	0	24,670,000	0	24,670,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	554,000	0	554,000	0	554,000	
自主事業 収支	△ 554,000	0	△ 554,000	0	△ 554,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市鶴志田地域ケアプラザ

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位: 千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	1,000			3,000		3,000	6,000		6,000	60,000		60,000	1,300		1,300
	その他	0	0	0	0	0	0	800	0	800	4,000	0	4,000	140	0	140
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	利用者等利用料収入			0			0			0	4,000		4,000	140		140
	受託収入			0			0	800		800			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	収入合計(A)	1,000	0	1,000	3,000	0	3,000	6,800	0	6,800	64,000	0	64,000	1,440	0	1,440
支出	人件費			0			0	6,000		6,000	49,740		49,740			0
	事務費			0			0	500		500	8,000		8,000			0
	事業費			0			0	300		300	4,000		4,000			0
	管理費			0			0			0	3,700		3,700			0
	その他	750		750	2,500	0	2,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	750		750	2,500		2,500			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0	
	支出合計(B)	750	0	750	2,500	0	2,500	6,800	0	6,800	65,440	0	65,440	0	0	0
	収支 (A) - (B)	250	0	250	500	0	500	0	0	0	-1,440	0	-1,440	1,440	0	1,440

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	介護者のつどい	H16	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	現介護者や介護経験者がお互いの悩みや体験を話し、共感・共有し合うこと情報交換をおこなうことを目的とします。	5：地域	1・6	茶話会形式で、介護者・介護経験者と包括職員などが悩みや体験を共有し合います。(8月・12月・3月を除く各月第4木曜日に開催。年9回。)		
2	鳴声風歌	H16	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	歌唱をきっかけに住民の知り合う場、交流が持てる内容で行います。毎回、茶話会の時間を設けて情報交換もできるように実施していきます。	1：高齢者	5	コロナ禍に合わせて、歌わず、伴奏者を招いて懐かしめる曲目を集めたのコンサートを聴く。年2回		
39	子育て相談(ほっこりんこ)	H16	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	活動を通じて、育児相談を区の子育て支援課に迅速に繋げる。地域の子育て世代のコミュニケーションの場の提供	3：養育者及び乳幼児	2・4	区の子育て支援者が来館し、遊びのスペースを設けながら養育者の相談に対応し		
3	デイサービス ひろがりサロン	H17	5：共催(1と3)	2：発展させるねらい	地域の方や民生委員が連携して地域の中高齢者の方の居場所づくりを行う。	1：高齢者	5	介護保険に関係なく利用できる高齢者向けのサロン。地域の人がボランティアとして登録し、見守りが必要な高齢者に談話、体操、昼食の提供、散歩、誕生会、唄、遠足年間様々な活動を取り入れて互いに支え合うことを具現化する。見毎月3回～4回(内数回行事も含む)		
4	布あそびの会	H17	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	裁縫をきっかけに地域住民の仲間づくりとして行います。作品の準備は参加者もできる範囲で行い、手作りの会として開催します。	1：高齢者	5	講師を囲みながら手芸を楽しむ。不定期で地域に向けた小物づくりをする。月1回 毎月第一火曜日9:30～11:30		
5	鴨志田囲碁倶楽部	H18	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	囲碁を通して、住民の知り合うきっかけ、親睦を深める目的で開催します。参加者による教室の企画・運営も行い、ボランティア活動を広げていきます。	1：高齢者	5	講師に学びながら囲碁を楽しむ。月4回 毎月第2、第4日曜日 13:00～17:00 毎月第1、第3火曜日 13:00～18:00		
6	体操教室ひまわり	H18	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	介護予防、同年代の仲間づくりを目的に行います。地区の保健活動推進員の協力を得ながら、高齢者の孤立化を防ぎます。	1：高齢者	5	講師を招いた緩やかな体操。月2回 毎月第1、第3水曜日13:30～15:00		
7	ケアプラザフェスタ	H19	7：共催(1と2と3)	2：発展させるねらい	活動団体の紹介、各団体の作品展示、余興、ボランティア団体同士の横のつながりの構築、活動紹介を通して新たな人材発掘を行う。	5：地域	1・2・3・4	活動団体の発表会、作品展示、障がい施設のグッズ販売、飲食の提供など 年1回 ※要検討中		
8	ボランティア交流会	H19	7：共催(1と2と3)	2：発展させるねらい	ボランティア同士の顔の見える関係づくり、茶話会を通して、活動団体が抱えている問題を解決できるよう意見交換を行う。	1：高齢者	5	団体の活動紹介、代表者の自己紹介や会の課題の発表、ケアプラザからの情報提供。最後に茶話会など。年1回 ※要検討中		
9	鴨のお茶の間	H19	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域住民同士の仲間づくり、ボランティア活動につなげる目的で開催します。参加者が地域で活躍できるようきっかけづくりも行います。	1：高齢者	5	講師を招き、地域で茶道を楽しむ会 月1回 毎月第1、第3金曜日 13:30～15:00		
10	笑和会	H19	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	主に男性対象の調理実習を通して、地域で活躍できるよう、ボランティア団体の紹介や地区の行事等を紹介しながら、ボランティア活動につなげていきます。	1：高齢者	5	定年退職後の男性の集まり。料理を作って食べながらコミュニケーションをとる。月1回 毎月第4火曜日 10:00～13:00		
11	(鴨のお楽しみ会) 楽しい折り紙	H20	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	折り紙、クラフト等作品作りをきっかけに、住民同士の交流をはかる場として行います。参加後に地域のサロンなどで学んだことを披露できるよう、適宜活動紹介も行っていきます。	1：高齢者	4・5	講師を招いて季節にあった折り紙を折り楽しむ。隔月1回第一木曜日		
12	サロン健康マージャン	H21	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	近隣住民の輪作り。デイサービスなどのボランティア活動につなげる目的。介護予防。生きがいづくり。	1：高齢者	5	地域で上手な方がアドバイザーとなって麻雀を楽しむ。※コロナの状況により開催。毎月第2日曜日(10:00～13:00)(14:00～17:00) 毎月第4日曜日(10:00～13:00)(14:00～17:00) 午前は中上級者 午後は初心者		
13	にこにこ！健康マージャン教室	H21	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域住民の仲間づくり、ボランティア活動につなげる目的で開催します。講師は貸館利用団体のボランティアが担う。茶話会等企画し、交流をはかります。	1：高齢者	5	毎年6月～3月 毎月2回 第2、第4水曜日		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	地域交流デー	H21	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	夏休みの異世代交流、ボランティアの発掘、貸館利用者のボランティア活動のきっかけとして開催。	4:子ども・青少年	1・2	地域の活動団体のレクリエーション他、飲食の提供など。年1回 ※要検討		
15	中里北部「ちょこボラ」	H23	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域の介護保険、医療制度で補えない、日常生活の困りごとの解決。住民主体の活動支援。見守り活動。ボランティアの育成。	5:地域	1・2・6	介護保険、医療制度で補えない、日常生活の困りごとを住民で解決する取り組みを支援する。随時受付、支援をしている他、年4回の会議		
16	鴨志田ウォーキングクラブ	H23	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	健康維持、地域住民の仲間づくり、情報交換の場として開催します。コース検討から実施まで参加者が関わりながら行っていきます。	1:高齢者	5	住民主体で年間計画を立ててウォーキングに出かける。毎月1回第2水曜日、その他、随時打ち合わせを行う。		
17	畑プロジェクト	H23	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域住民の交流を目的に行います。季節ごとに計画表、作業表を参加者が作成、地域のお祭りやサロンにも参加してボランティア活動へ促していきます。	1:高齢者	4・5	寺家に畑を借り、通年で作物を作り収穫を楽しむ。収穫物を地域で活用する時もある。月4回主に火曜日(その他必要に応じて随時)		
18	かも☆ん	H25	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て世代の親子のひろば。参加者同士が同じ空間をともに過ごすことで子育てのヒントがもらえたり、お友達ができたり、母親の孤立化を防ぎます。	3:養育者及び乳幼児	5	月2回 毎月第1、第3火曜日 10:00～12:00(祝日は休み)「あおばふれあいの助成金」の配分を受けて実施		
19	合同 包括カンファレンス	H26	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エリアのケアマネジャーのスキルアップを目指す。	6:事業者		奈良ケアプラザ、恩田ケアプラザと合同開催。講義やグループワーク形式で研修会を開催年6回開催 5月、7月、9月、11月、3月開催予定		
20	悠たみのリサロン	H26	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域住民の孤立化を防ぎ、関係を深める目的で行います。住民による講座、食事作りも一緒に参加型のサロンです。	1:高齢者	5	地域の高齢者が集まって終活について、健康についての他、隔月で歴史講座を聞いた後、意見交換会を行う。 月1回 毎月第4水曜日15:00～18:00		
21	歴史さんぽを楽しむ会	H26	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の歴史を学び、町歩きを行います。参加をきっかけに地区の行事や活動に関するヒントを持ち、ボランティア活動で発展できるような活動紹介も行っていきます。	1:高齢者	5	ボランティアで歴史に詳しい方を中心に集まる。青葉駅集合で歴史に因んだ場所を散策する。 概ね偶数月で隔月1回 第一月曜 13:30～		
22	鴨志田ノルディック	H27	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	元気づくりステーションでスタート。地域の高齢者の健康づくり。地域の仲間づくり。	1:高齢者	5	毎月2回、ケアプラザに集合してから外で活動を行う。介護予防を目的に年に数回ケアプラザ内で「栄養」、「口腔ケア」の講座を行う。		
23	デッサンから学ぼう	H27	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	デッサンの活動を通じて地域住民同士が交流を行う。	5:地域	1・4	講師を招き、コラージュ、墨絵、水彩画など、個々の希望に合わせて作品づくりができる。手作りの会です。月1回 毎月第1月曜 午後クラス 13:00～15:00		
24	はまちゃん体操	H27	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	毎週一回、ラウンジを利用して、健康体操を行います。実施後も開放し、ボードゲームやトランプなど思い思いに過ごせる交流の場を提供していきます。	1:高齢者	5	月4回 多目的ホールで映像と音声を見ながら「はまちゃん体操」を行う。毎週火曜日10:10～11:00		
25	鴨ちゃん健康クラブ	H27	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	主にたちばな台地区の住民の介護予防・介護保険・福祉サービス・権利擁護等の相談の受付を目的とします。	1:高齢者	5	体操・口腔ケア・外出行事等を参加者も企画に関わり、活動を通して、同年代の仲間づくりにもなります。 (月1回)		
26	カフェひるがお	H28	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ラウンジを解放して地域作業所による手作りパンの販売と飲み物の提供を地域のボランティアの協力を得ながら交流の場として開催します。	2:障害児・者	1・3・5	コロナなのでカフェは行わずラウンジで数回販売のみ行った。 月2回 毎月第1火曜日 11:30～ 毎月第3火曜日 11:30～ (売り切れ次第、終了)		
27	かもマチ食堂	H28	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	子どもから大人まで集まる、異世代交流の場として開催。地域住民が町の先生として、子供たちに調理や遊びを提供し、住民の孤立化を防ぐ取り組みです。	5:地域	1・2・3	令和3年の業「食堂」ではなく「放課後支援」内容は多岐に渡り検討しながら子どもの居場所づくりを行う。月1回開催。他ミーティングとして月1回集まる。 15:00～17:00		
28	シルバーリハビリ体操	H28	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	介護予防を目的に行います。個々の身体に合わせて健康維持を目標に行います。	1:高齢者	5	近隣の介護施設職員に依頼して、ストレッチ、ボール、体操棒、レクリエーション等、月2回 毎月第2、第4火曜日14:00～15:00		



■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
29	書を楽しむ会	H28	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域住民の交流事業。書道を通して地域での仲間づくりを目的に行います。講師は近隣住民が担い、住民同士の情報交換の場として活用していきます。	5：地域	1	講師を招いて書道を楽しみ、年に1回展示を行う。 月2回 毎月第1水曜日10:00~12:00 毎月第2金曜日10:00~12:00		
30	認知症サポーター養成講座	H28	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症への理解を深め、地域全体での見守り体制を構築していきます。	5：地域	4・6	主に地域住民や担当エリア内すべての小中学校を対象に、認知症の病識や認知症状が見られる方への対応方法などを伝えていきます。 (昨年実施した団体については今年も引き続き年1回実施。)		
31	出張相談	H29	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	主にたちばな台地区の住民の介護予防・介護保険・福祉サービス・権利擁護等の相談の受付を目的とします。	5：地域		たちばな台地区の地域住民(主に高齢者)の身近な相談場所として、介護予防・介護保険・福祉サービス・権利擁護等の受付を行います。 (毎月第1火曜日に実施。)		
32	ザ・オシャベリサロン	H30	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	主に高齢者の茶話会として行ないます。集まりを通して、介護予防に関する情報発信をしていきます。	1：高齢者	5	ハマトレ、ボードゲーム、昼食会を通して、ご近所の情報交換、同年代の仲間づくりに繋がります。概ね毎週火曜日開催		
33	ひろばmini	H30	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	関係機関と地区内の集まり場で子育ての様子を伺う。子育て世代の孤立化を防ぐ。遊びを通して、気軽に相談できる関係を築いていく。	3：養育者及び乳幼児		関係機関と連携してケアプラザ外の場所で子育て広場を開催する。年1回		
34	鴨の花のとも	H30	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	生け花をきっかけに、住民の交流をはかります。異世代交流の場として行ないます。	1：高齢者	5	地域の生け花教室から講師を招いて生け花の基本から季節に応じた作品作りを行う。門下生の実演の場としての役立っている。月1回 毎月第4土曜日10:00~12:00		
35	子育てミニひろば	H30	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	関係機関と地区内の集まり場で子育ての様子を伺う。子育て世代の孤立化を防ぐ。遊びを通して、気軽に相談できる関係を築いていく。	3：養育者及び乳幼児	4	子育てに役立つイベントの開催。年1~5回		
41	親あるうちのライフデザインセミナー	H30	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	専門機関との連携し、基幹の役割の周知する。ケアプラザエリアのニーズの把握と障がい児者とその家族への支援。ケアプラザの役割の周知	2：障害児・者	5・6	専門機関を招いての講話 任意で年に1回程度		
36	OB・OGカフェ	H31	6：共催（2と3）	2：発展させるねらい	地区情報の共有と地域活動ボランティアの継続・拡充と支援を目的に行ないます。	5：地域	1	地域の元地域役員と現役員や、ボランティア活動経験者も含めた、意見交換を茶話会として行ないます。 (月1回)		
37	鴨志田フォトサークル	H31	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	フォト活動を通じての地域住民同士の交流。地域の行事などを記録するボランティアの育成。	1：高齢者	5	季節に合わせた撮影会と講習会を企画、交流会として食事会等。ケアプラザや地域行事への記録係としてのボランティア参加。月1回		
38	見守り連絡会	H31	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	地区の関係機関と連携し、見守りの支援体制を整備する目的で行ないます。	5：地域		地域の関係機関(連合町内会、地区社会福祉協議会、民生員児童委員等)と各地区の現状報告と情報共有を行ない、今後必要となる資源の創出に繋がります。 (年3回程度。)		
43	気づきの和連絡会	R2	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	住民や児童・学生、地域で働く人々が連携し、まちで見守りの輪を広げる取組。中里北部地区の取組	6：地域	5	必要に応じた会合を開き、地域でニーズに合わせて活動展開をする。年間2~6回 活動に応じて随時集まる。		
44	四季のコンサート	R2	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域活動でレクリエーションを目的に活動している、個人や団体の発表の場づくり。団体の会員募集など活動の活発化の後方支援。ケアプラザの周知。地域の方の生活圏内での楽しみと引きこもり防止。	5：地域		年間1~4回程度四季折々や行事に合わせて、コンサートやレクリエーションを行う。		
45	シナプソロジー	R2	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防。ケアプラザと包括支援センターの周知	1：高齢者	1	講師を招いて介護予防、認知症予防につながる「脳トレ」を行う。不定期年2~3回		
46	収穫体験会(サツマイモ)	R2	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	地域住民の交流を目的に行ないます。ボランティアの活躍の場づくり、新しいボランティアへの活動参加促進。親子、子育て支援。自然とのふれあい。	5：地域	4	6月に種付け、年間通じた草取り、みずやり、観察、収穫 活動日は年間2回 通年観察可能		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
47	スマホ・LINE体験教室	R2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	企業連携。高齢者支援。	1:高齢者		ソフトバンクと企業連携し、デモ機を持参してもらい高齢者にスマホの操作法を学ぶ機会の提供。年2回		
48	手先活き活き講座	R2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	手先いきいき講座。四季折々に多世代で参加し楽しむプログラムを提供する。12月にクリスマス飾り、正月飾り作りを親子向けに開催した。	5:地域		手先いきいき講座。四季折々に多世代で参加し楽しむプログラムを提供する。9月に敬老の日のプレゼントとして「猫クラブ」を製作した。年間1~4回		
49	デジタルライフを楽しむ会	R2	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	シニアのデジタル大夫サポート。地域住民のライフワークサポート。地域の仲間づくり。ボランティア育成	5:地域		講師を招き、PC、タブレット、スマホなどを使って、生活を便利にしたり、楽しみを拡げるための講座。地域貢献になるボランティア活動参加。毎月3回 第1.2月曜日		
50	日本体育大学共催 SANDAY MOORNING ラジオ体操第一	R2	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	大学連携。地域と学生の繋がりがづくり。	5:地域		5月2回。夏休み他他集まりの場で随時開催。		
51	ぬりえサロン 彩(SAI)	R2	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	コロナ禍に自宅で進められる活動として導入。大人向けの原画を提供し塗り進める。登録団体Ⅱのデッサンの講師にアドバイスを頂き、スキルアップ、塗り甲斐と仲間づくりを行う。	1:高齢者	5	講師オリジナルの大人向けの原画を提供し色鉛筆で塗り進める。毎月1回 第3金曜日		
52	ハマトレ講座	R2	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防啓発。ハマトレの周知。	1:高齢者	5	介護予防啓発講座。WEBを通じてハマトレの講座を提供する。不定期		
53	ひきこもり講座	R2	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	8050問題を探り上げ、地域住民による支え合い活動に役立つ講座を階差する。	5:地域		すすき野地域ケアプラザと協働し講師を招いての講話をZOOM配信する。その他アンケート調査なども行う。年間1~4回 不定期		
54	放課後支援プログラム	R2	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	児童の放課後の居場所づくり。教える側のボランティアの育成。	4:子ども・青少年	1・5	令和3年度は英検取得、ロールプレイなどを取り入れた英語支援をはじめ、令和4年度は絵画、囲碁、ダンスなどを取り入れて、学校が終了した時間帯への居場所を広げる。月8回		
55	ボランティア事業所連絡会	R2	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	インフォーマルサービス関係者と事業所の顔の見える関係づくり	1:高齢者	5・6	区の中里北部地区のデータ分析に関する講話や事業所、民生員、ケアプラザのケアマネが集まり顔の見える関係づくりを行った。(年1回~)		
56	余暇支援プログラム	R2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	春・夏・冬休みなど「余暇」の子どもの見守りと居場所の提供。地域で顔の見える関係づくりを目指す。	4:子ども・青少年	1・5	GWと夏休みに期間限定でラジオ体操を行った。年間1~2回		
57	わん・にゃん・民カフェ	R2	2:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	「ペット」の話でつながることを目的に開催。ペットの世話が困難になってきた高齢者情報も集め、地域の見守りの対象となる方を知り、任意で犬の散歩などの「ちょこばら」活動に繋ぐ。その他、地域猫の愛護と環境問題についての意見交換や子どもたちへの「いのち」の大切さを伝える活動、必要に応じて里親探し、TRNを実施する。	5:地域		茶話会で情報の交換、意見交換を行う。年1~2回		
58	Salon de Duck	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域のおとなが語学を忘れないよう学ぶ機会の提供。初心者英会話で塗り甲斐を見つけるクラスの開講。英語を通じたコミュニケーションとコミュニティづくり。	5:地域		ネイティブスピーカーの先生を招き、英会話初心者と過去に経験のある方用の中級講座を開催。子供向け放課後支援の鴨イングリッシュの支援や地域向けに弁論大会などを検討中。月に2回		
59	浮世絵から学ぼう	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域住民同士のコミュニケーション。探求心を養い調べる楽しみを知り、自宅での過ごし方や外出への後押しになるような塗り甲斐を作る。	1:高齢者	5	講師を招いて浮世絵から歴史を学ぶ。奇数月開催 年間6回		
60	鴨〇リミック	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の未就園前の親子の顔の見える関係づくりの場の提供。身近な拠点で子どもに質の高い音楽を提供する場づくりとする。	3:養育者及び乳幼児	4	講師を招いてリミックを行う。月1回		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
61	ケアプラザ活動団体紹介コーナー作り	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ケアプラザの活動の見える化。活動団体同士の繋がりがづくり。コーナーづくりに携わるボランティアの育成。新しい人材の発掘とケアプラザの周知。	5:地域		鴨志田フォトサークルと協働。サークルメンバーが活動団体の写真を撮り、館内のボードに活動内容が見えるボードの作成を行う。		
62	ケアプラザタペストリー作り	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	大学連携。地域と学生の繋がりがづくり。	5:地域		横浜美術大学と協働しケアプラザ館内の壁面装飾を行い地域住民に楽しんでもらう。年1回		
63	古典文学	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	古典文学を通じた高齢者の仲間づくり。生き甲斐づくり。見守り活動。	1:高齢者	5	長編の「枕草子」を読み進める中で、楽しみや地域での仲間づくりを目的に継続した活動に結び付けサークル化を目指す。月2回 毎月第2・4土曜日		
64	スポーツ救急 VRを使用した救命蘇生講習会	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	大学との連携事業。域学の目的。地域で救命について学び備える心を啓発する。住民同士の交流と顔の見える関係づくり。	4:子ども・青少年	1・6	日本体育大学との共催事業。地域住民を対象に防災が発生したことを想定した意見交換や実践を行う。令和4年度は幼児救急法を含む内容で開催。年1回		
65	中国文化の会	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	語学を通じて仲間づくりや楽しみを見つける。ネイティブの講師を通じ食・茶なども取り入れて、中国文化に触れる。	5:地域		講師を招いて中国語を学ぶ。不定期で中国文化に触れた茶会や点心を楽しむイベントを協働する。定例で月2回 第2・4木曜日		
66	デジタル紀行	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ボランティア育成。旅行を楽しめなくなった高齢者が回想したり、映像で楽しめる機会の提供。若年層の旅行計画の参考になる内容でケアプラザへ足を運ぶきっかけ作り。	5:地域		映像と語りを通じて外国紀行を楽しむ。講師を招いての受け身の活動から住民主体の活動展開を目指す。年1〜2回		
67	日本体育大学共催 走り方教室	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	上記と同様ではあるが、「走り方教室」の開催にあたってはエリアの小・中学校の校庭を借りるなど、学校との関係づくりを強化することも目的に含まれる。	4:子ども・青少年	1・6	近隣公園で走り方教室を行う。年間1回		
68	日本体育大学共催 防災セミナー	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	日本体育大学保健医療学部と連携し、住民の防災・防犯の知識を拡げ、家族、近所、地区で活躍できる人材を発掘、育成する。講習後もフォローアップし、仲間づくり、生き甲斐づくりにつながるよう支援していく。、防災時に役立つ人材を育成して、地域で活躍できるボランティアの育成を目指す。	5:地域	4	講師の講話、グループワークなど年間1回		
69	やさしい手話	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	既存団体の地域貢献と遣り甲斐づくり。手話を継承する新しい人材の育成。手話の普及啓発、身近な拠点での活動に結び付けきっかけをつくる。	1:高齢者	5	地域の手話グループが担い手になり、手話講座を開催。新しい人材の育成を行う。月1回		
70	読み語り にじいるぼっけ	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子どもからおとなまでが楽しめる絵本の読み語り活動展開。ボランティア育成。基礎知識を学び、講座を通じた仲間づくり	5:地域	1・2・4	定例会で講師を招いて勉強を行う。毎月子育て支援の場とタイマーサービスで読み語りの実践を行う。月2回 毎月第2火曜日、第4木曜日10:00〜12:00その他不定期でボランティア活動		
71	私のガーデニング	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	企業連携。新しい人材の発掘。ケアプラザの周知。	5:地域		専門家に簡単に取り組めるガーデニングの講話を聞く。任意で地域の方や親子でプランターアートを楽しむ。提供するプランターについては生活困窮の方の手作りで収益の一部を就労支援金に充てる年1回		
72	「音楽を楽しむ会」(愉音)	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	プロの音楽家が集まり、地域の親子に良質な音楽の提供と興味、継続していく中で参加の親子とのコミュニケーションを図り、子育て支援を行う。	5:地域	6	専門家による演奏や読み語りなど。月1回		
73	手造り楽器を作ってフィリアホールで演奏しよう	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	フィリアホールとの地域連携事業(夏休み企画)。子育て支援。ボランティアの活躍の場提供。	3:養育者及び乳幼児	5	講師を招いて打楽器を作り、その楽器を持ってフィリアホールのコンサートに参加して演奏する。製作日とコンサート 年2回		
74	暮らしに役立つ(お金の)話	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	専門家を招いて地域のライフワークに役立つ講話を行い、質疑応答で疑問に答え、中でも専門分野に繋げるべき案件があれば迅速に対応するきっかけとする。	5:地域		予め講話の内容をケアプラザと確認、打ち合わせて地域に発信したい内容をフィナンシャルプランナー他専門分野の方が集まって順番を追って「暮らしに役立つ話」を講話する。質疑応答に丁寧に対応。アンケート調査も行い振り返りを行う。年間7〜8回		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業  
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）  
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業  
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児  
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者  
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
76	権利擁護講座	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	警察署との連携。ボランティアの活躍の場の提供。地域への詐欺への注意喚起など	1:高齢者	5	青葉警察署の生活安全課の職員の講話と地域のボランティアによる啓発に関する寸劇と歌の披露。年1回		
77	包括カンファレンス (多職種、各立場の連携)	R3	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	3包括合同包括カンファレンスとは別に、エリアのケアマネジャーの対応力アップを目指し、エリアの民生委員から事業所や医療関係者まで対象としたカンファレンスを開催し、多職種、立場の間でネットワークを構築。	6:事業者	5	年間1回		
78	ハートフルライスパーティー	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	寺家の田んぼをかりて野外活動をしている団体との共催事業。地域の子どもの大人達に農作業(特に稲作)について広く知ってもらい、収穫を感謝し色を大切にす考への啓発を行う。障がい児・者の施設と連携し参加者全員が顔の見える関係づくりをするきっかけの場を提供する。	5:地域	1.2.3.4	5月末に田植え、11月に稲刈り、12月に収穫祭を行う。 年1回～3回		
79	ボッチャ体験会	R3	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	スポーツ推進員や自治会などと連携し地域の方にボッチャを知ってもらう機会を作り、ゲームを楽しむ。	5:地域	1・2・6	スポーツ推進員、連合自治会と連携して地域住民同士の交流を図る。 不定期		
83	学校に行きずらさを感じている親のための勉強会	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て支援 同じ悩みを持つ親同士の交流 ひきこもりの子どもの支援	4:子ども・青少年	5	フリースクールの教師を招き講話と茶話会を行い、参加者の中からひきこもりの子どもや親のためにできることを考えて実践できることを行う。		
85	かるがもクラブ	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	世代間交流。子どもの情操教育。シニアの介護要望。障がい児・者のための音楽療法。日曜日の居場所の提供、貸館稼働率向上。	5:地域	1.2.3.4.	講師を招いて年齢に関係なくトーンチャイムを楽しむ。機会があれば発表会を行う。		
40	姿勢美人講座	R4	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	体幹トレーニングを取り入れて。主として若年層の参加を狙い、健康と世代間交流を目的に行います。	5:地域	1	月2回 毎月第1・第3水曜日 15:30～17:00		
75	子どもの身体遊び キッズD	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子どもの居場所と友達づくり。 子育て世代の親の繋がりがづくり。 子どもの健全な体と遣り甲斐作り。	4:子ども・青少年	5	講師を招いて放課後と土曜日を利用して身体のほぐし方やダンスを習う。(放課後支援プログラム) 月2回		
42	鴨志田ジュニア 囲碁倶楽部	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子どもの居場所と友達づくり。 子育て世代の親の繋がりがづくり。 子どもの囲碁の上達と遣り甲斐作り。 世代間交流。	4:子ども・青少年	1	講師と囲碁の熟練のボランティアが放課後の児童の居場所づくりとして囲碁に親しむ時間を共有する。(放課後支援プログラム) 月1回		
80	イングリッシュ・パピー	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子どもの居場所と友達づくり。 子育て世代の親の繋がりがづくり。 子どもの英語への興味を引き出し、遣り甲斐と自信を作る。 世代間交流。	4:子ども・青少年	1	登録団体Ⅱの英会話の団体が見守る中でアルファベットなど英語入門を体験する。(放課後支援プログラム) 月1回		
81	鴨志田ジュニア アート創作会	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の子どもの居場所と友達づくり。 子育て世代の親の繋がりがづくり。 創作への興味を引き出し、遣り甲斐と自信を作る。 学校に行きずらさを感じている子どもや障がいを持つ子供と親の支援 世代間交流。	4:子ども・青少年	1	講師を招いて絵画を楽しむ。 月1回		
82	子どもサポート実践研究会	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子ども支援 地域と学生の繋がりがづくり 世代間交流	4:子ども・青少年	5	学生ボランティアを招いて子ども向けのプログラムを企画・実施する。 年間4回。他定例会		
84	みっけ	R4	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て支援。障がい児・者支援。 登録団体同士の交流。 自然に親しむ機会の提供。 情操教育や食育に繋がる情報の提供。 子育て世代の繋がりがづくり。	5:地域	1.2.3.4	愉音と寺家田んぼおむすびと協働。パケツ稲に稲を育てる。その稲に音楽を聴かせて育む心を養う。キックオフイベント、田植えと稲刈り活動、四季のコンサート、寺家散歩など。 ※東急子ども応援プログラム助成金対象		

<b>■ 事業</b> 1: 地域活動交流事業    2: 地域包括支援センター運営事業 3: 生活支援体制整備事業    4: 共催 (1と2)    5: 共催 (1と3) 6: 共催 (2と3)    7: 共催 (1と2と3)	<b>■ 事業の性質</b> 1: 優先的に取り組みが求められる事業 2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1: 高齢者    2: 障害児・者    3: 養育者及び乳幼児 4: 子ども・青少年    5: 地域    6: 事業者 7: その他
--	---	---

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
86	包丁研ぎ講座	R4	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	地域住民同士の交流。 ケアプラザの周知。 ボランティア育成。 地域住民の生活サポート。	5: 地域	1.2.3.4	講師を招いて包丁研ぎを実践する。自宅の包丁を1本研いで持ち帰ることができる。任意でボランティア活動をしてみたい方を募り勉強会を定例化する。		
87	鴨志田寄席	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民同士の交流。 ケアプラザの周知。 ボランティア育成。 地域住民の生活サポート。	5: 地域		アマチュア落語会を招き寄席を行う。 年1回		
88	みんなの学習室	R4	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	専門機関との協働(あおぼCT)ユース(学生)との繋がり作り 児童の学習支援 ケアプラザの周知	4: 子ども・青少年	5	あおぼコミュニティテラスと協働し夏休みの児童の学習支援を行う。支援者は高校・大学生。		
89	中高生向けHP作成講座	R4	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	中高生へのケアプラザの周知 デジタルへの興味関心を持つきっかけ作り 地域住民同士の顔の見える関係づくり	4: 子ども・青少年	5	講師を招きHP作成、プロミンク言語を学び、自身の作品を発表する。		